



瀬戸会館だより
 平成24年5月号
 新居浜市瀬戸会館
 〒792-0821
 新居浜市瀬戸町7-30
 E-mail
 seto@city.niihama.ehime.jp
 TEL 0897-41-5859
 (FAX 兼用)

**ピッカピカの一年生
心豊かに大きく育て!!**

泉川小学校の校門を入ると、すぐ脇に郷土泉川が誇る儒学者遠藤石山の記念碑「遠藤石山先生垂教之地」が建っている。この碑を大きく覆うように立つ桜が満開で、それをバックに真新しい装いの児童らがカメラに収まっている。今日は4月9日(月)、入学式。手をつないで親子は中庭を通り入学を受け付ける教室前に向かう。式場の中央には演壇と校旗を囲むようにさくら草とパンジーが咲くプランターがたくさん並べられ、この花々をはさんで新入生と在校生が向かい合う座席の配置。6年生はすでに席に着いている。やがて音楽が流れ、「まつ」組、「たけ」組のプラカードを先頭に、担任の先生の後ろについて新入生が入場。その方向に視線が注がれ、おおきく、温かい拍手が会場をつつむ。座席に着くと式が始まり「君が代」斉唱。続いて担任の先生が紹介され、その先生から一人ひとり入学者の氏名が読みあげられる。児童たちは自分の名前が呼ばれると、「ハイ」と元気良く返事して、起立。一呼吸置く感じで、着席。校長先生の式辞に続いてPTA会長一色さんからお祝いのご挨拶があり、児童代表の6年生沼田さんは、「泉川小学校はとても楽しいですよ。今日から皆さんはお友達です。」とやさしく語りかけた。教室にもどった新入生の皆さんは、学校から渡されたものを保護者と一緒に確認する。教科書のほかに各種の調査票、学年通信『はじめのいっぽ』などたくさんある。その中に防犯ブザーがあるのも今どきの事情を物語る。大きな荷物を抱えて下校。緊張の一日が終わり、いよいよ明日から楽しい小学校生活が始まる。どの子どもどの子も個性を輝かせ心豊かに大きく育てほしい。

ご近所に咲く
タイツリソウ



さくらクラブを訪問 (泉川小学校放課後児童クラブ)

4月12日(木)の放課後、泉川小学校の「さくらクラブ」を訪ねた。丁度おやつ時間だったようで、前面のテレビには「ドラエモン」が映っている。3人の先生が見守る中、画面に集中して教室は静か。ドラマのセリフの合間にセンベイを食べる音が聞こえるほどだ。各自持参の水筒が横にある。おやつ時間が終わると代表3人が前に出て、手を合わせて「ごちそうさま」ときちんとあいさつ。続いて菓子袋などを一斉に片付け始める。この日50余名いた児童のうち、自習や本を読む人はこの部屋に残り、本の「読み聞かせ」に参加する児童は隣の部屋に移る。



図書室に腰を下ろした20余名は、瀬戸会館の神野久美子指導員に注目する。この日の「読み聞かせ」は長崎源之助 作の『もうじき一年生』という本のお話だ。この中に一年生は6人いるそうだ。正座の子、本を直視する子、うなずきながら話の進展に応じて「えーっ」、「んーん」など言葉にならない声が出るなどさまざまな反応。話が終わるとみんな立ち上がって姿勢を正し、どこからか「礼！」と号令がかかる。放課後から午後6時まで、途中で保護者が迎えに来る子もいるが、それぞれ元気に過ごしている。

すもう 伝統の「角力大会」に沸く泉川中学校



4月13日(金)、校区内にある地域の氏神社において泉川中学校伝統の「開校記念角力大会」が開催された。学校によると、昭和22年の学校創立を記念して長く受け継がれてきた伝統ある行事である。全校の生徒が校区内の浦戸神社境内にある立派な土俵に場所を変え、学級対抗の団体戦、そして勝ち抜き個人戦を行う。以前は男子生徒のみの取り組みであったが、最近は女子生徒も参加し迫力ある熱戦を展開している。取組前後の「礼」に見られる相手を尊重する姿、道具を使わず体と体でぶつかる相撲は、素直に、観る人の感動を呼び、取組ごとに拍手と歓声が沸く。いやがうえにも全校生徒の一体感が盛り上がる。新学期早々のこの時期の意義ある行事である。伝統が今に息づく泉川中学校の「貫録」を見る思いであった。

人権あらかると

或るやさしさ 温かさ

永 六輔 (放送作家)

最近、がんの告知がふつうになっています。あっさり、「あなたはがんです」と言う医者が増えている。

ぼくはこれには反対です。

ぼくは『大往生』で、告知できる技術をもった医者が、告知に耐えられる患者に対して時だけに限るべきだ、と書きました。

がんであることを伝えられるのは、どう言われようとも、それはショックです。

ぼくは、「土曜ワイド／永六輔その新世界」という番組を続けていますが、そこに鎌田實さんや内藤いずみさんらがいらっしやって、告知の問題を含め、病院やお医者さんの話をしています。鎌田さんは、諏訪中央病院のお医者さん。内藤さんは山梨県の甲府にお住まいの在宅ホスピスのお医者さん。

鎌田さん、内藤さんたちといろいろお話ししたんですが、その時話題になったことの 하나가、臨終のときのこと。

最期を看取るとき、医者はいないほうがいい。看護婦さんもないほうがいい。そんな話になりました。

家族だけだからいいので、家族以外の人一人でもいたら、そこは家じゃないんですね。いままでは、脈とか呼吸とか瞳孔とかを診ながら、「ご臨終です」と言っていました。

でも、いまは違うシステムが可能なんです。痛みをとる医療、ペインクリニックが進んでいますから、苦しいとか痛いとかはありません。臨終が間もなくだとなったら、医療スタッフは全部いなくなって、家族だけにしてあげることができる。

これがどれほど優しく、そして、温かいか。

永 六輔『伝言』(岩波新書)より(一部割愛にて掲載)

※標題は「ゆめじゅく編集部」でつけさせていただきました。



ご近所に咲く
タイツリソウ

5月公演 回轉木馬おはなし会

5月 9日予定 10:40~11:00

瀬戸児童館

♥いい汗・ハツラツ♥「ピンポンくらぶ」

♪ピ〜ンと打った球が、しばらくして♪ポ〜ンと返ってくるのどかな球のやりとり。ところが続いて「あ〜ッ」、「ワ〜ッ」の声とともに球拾いに走る。一年前には球を打つより拾うほうが忙しくて、「いい汗かいたあ」と話しておられた皆さん。そのうち仲間も増え、こんどはプレーする順番が待ち遠しいくらいになっていたところ、1月末には卓球台が1台増えて問題解決。この一年の間に、にぎやかさも一段とパワーアップして、皆さん、それぞれずいぶん上手になりました。ネットを越える球の連続回数もそのスピードも以前とは格段の違い。まさに白熱のラリーが続く中、ほんとに“いい汗”をかいておられます。



「人権のつどい日」にひろう

4月11日(水)は障がいのある青年との結婚を決意した女性(カナエ)と梨の農園を営むその家族を扱ったドラマ『カナエの結婚』を視聴した。

ストーリーが展開するなかで、「結婚後の苦労は目に見えている。よりによって障がいのある人と結婚しなくても・・・」と妹の結婚に反対する兄であるが、妹の純粋な思いも分からなくはない。兄としての揺れ動く心を友人に打ち明けて、気持ちの整理を図ろうとした。話を聞いた友人は、商品として見栄えのいい梨をつくることに精出している兄に対して、「今の話で最初に浮かんだもの―それはお前がつくっている梨だ。お前が商品としてはおろか、梨としてさえも認めていない多くの梨だ。」と話す場面がある。春、梨の花が咲き、時が来て実になるが、そこにあるのは外見が立派な大きな梨だけではない。少し変形したものもあれば、小さいものもある。「形はどうあろうと、すべての梨は、自分にとって丹精をこめて育てた尊い梨であるはずだ。」と、兄は外見で人の値打ちをはかっていた自分を恥じるとともに、人としての値打ちはその内面にあることに気づかされる。

視聴のあとに交わされた意見のいくつかを紹介すると、「値打ちを知らないということはこわいことであって、知ろうとする気持ちから差別はなくなっていくのかな、と感じた。」「『かわいそう』という視点をもっているうちは、絶対、同じ人間として認めていない。」「障がいのある人を好きになったのではなく、好きになった人がたまたま障害がある、ということではないか。」などがありました。そして、ドラマの中に「誰しも、それぞれ生きる喜びも役割も持っている」という言葉があり、今も、深く心に残っている。

5月の主な行事予定

5月16・30日(水)ー 移動図書館(14:00~14:40)

5月11日(金)ー 人権のつどい日 講演「人と人とのよりよい関係について」NPO 法人新居浜ほっとねっと相談員 村上 美代子さん

各教室 生徒募集中

インターネット初心者講座 生徒募集

インターネットを利用して、電子メール、音声通話・テレビ電話、ブログや旅先の情報収集に宿泊予約、ショッピングなど

情報有効活用術と、個人情報漏えい・攻撃・侵入・詐欺等を防ぐセキュリティのありかたを学習する講座です。

【全48回】

【日時】毎週 水曜日 13時30分~15時まで

【会費】毎月4回 2500円(別途テキスト・材料500円)

パソコン・ワード初心者&シニア講座 生徒募集

パソコンの基礎を学習し、ワードで案内状、年賀状、名簿、地図、ラベルやカレンダーなどを作成する講座です。

【全60回】

【日時】毎週水曜日 10時00分~11時30分まで

【会費】毎月4回 2500円(別途テキスト・材料500円)